

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	令和元年 8月22日(木) 午後7時30分～午後9時00分
会場	八 鍬 公 民 館
地域座談会の内容（意見交換等の内容等）	
<p>①長年の懸案事項でありました八鍬3号線の拡幅工事について、昨年度話がまとまり、いよいよ始まると聞いております。早期着工と早い段階での完成をお願いしたい。</p> <p>→八鍬3号線の工事について、令和元年8月21日に入札を行いました。今年度中に完成する計画で進めております。</p> <p>②慈恩寺橋から長泉寺前をとおり八鍬区内を流れている側溝の水が、農業用水の水利の関係で数年前から水を流してもらえなくなった。浄化槽などからの排水が停滞し衛生的によくないこともあり、農業用水として使用していただくとも水を流してもらうようにしていただけないか。</p> <p>→現場を見させてもらい、どのような対応ができるか、応急的な措置と全体的な対応と並行して検討させていただきたい。</p> <p>(担当課回答)</p> <p>当該水路につきましては土地改良区の施設となっており、田畑への用水の必要がなくなったため給水を止めたもので、現在は、雨水及び生活排水路として地域に活用されているものであります。地域で活用する側溝や排水路につきましては、施設を利用する地区の方及び関係者より清掃等の維持管理にご協力をいただいているところでありますので、地域による清掃等にご協力をくださるようお願いいたします。また、水が流れやすくなるよう改良区に整備要望を行ってまいります。</p> <p>③人口減少に伴う学校教育、将来の小学校、中学校の在り方についてどのようにとらえていけばいいか。</p> <p>→地域の皆さんが納得いくような取り組みが前提となります。教育委員会で学校の在り方について検討していく組織を作っております。市民の方も入っての組織であり、その中で、皆さんの意見もお聞きをし、2年くらいかけて検討し、将来の小学校、中学校のあり方を作っていければと思っております。</p>	

④市のマスタープランに高松駅の周辺に住宅団地造成の計画があると聞いているが現状どうなっているか伺いたい。

→住宅を安く提供できるように、民間の事業者から開発の取り組みをしていただき、それを市が支援をしております。民間による開発がならない場合は、行政が乗り出して、地域の活性化のために取り組みをすることも必要であり、検討してまいります。

(担当課回答)

市では、民間事業者による住宅地開発を推進するために住宅地整備補助を行っているところであります。高松駅西側への住宅団地整備を推進するために、今後当該地域を開発する事業者への補助率をかさ上げするなどの施策により開発誘導を検討してまいります。

⑤ファミリーサポートは、事前に予約をしないと受け付けしてもらえない。突然具合が悪くなっても、ファミリーサポートを受けられず我慢しなくてはならない。改善をお願いしたい。

→ファミリーサポートは利用する人が多く、利用できないケースが生じていることは聞いております。改善してまいります。

(担当課回答)

ファミリーサポートサービスは、原則として協力者のご自宅で未就学のお子さんをお預かりするサービスです。そのため、お子さんや保護者の方がより安心してお預けできるようあらかじめ利用登録のうえサービスの利用をいただいているところでありますので、ご理解をお願いいたします。ほかにも、傷病・冠婚葬祭などの理由で、一時的に保育が困難となる家庭の未就学のお子さんを保育所においてお預かりする一時保育なども行っておりますのでお問い合わせください。

⑥ペットボトル、ビン、缶の月1回の収集について、アパートでは置く場所がないため、収集の回数を増やして欲しい。

→収集回数を増やすためには経費が掛かる。他の町の要望なども聞き、1市3町の広域事務組合の中で対応を検討させていただくとともに、寒河江市単独で対応できるかも検討してまいります。

⑦防災行政無線のスピーカーの音が聞こえない場所がある。その対策について伺いたい。鹿島地区が聞こえない。

→防災行政無線の聞こえにくい箇所がないか調べていただくよう地域の方にお

願いし再点検している。対策としては、スピーカーの向きを変えたり、端末機を新たに設置する取り組みがあります。鹿島地区について、市の方でも点検してまいります。

⑧結婚してもらうための市の取り組みについて。

→結婚を助長する支援として、婚活コーディネーター制度、婚活支援団体へ市で支援する制度があります。また、小中学生のうちから故郷や家族や結婚などについて考えていただくためのライフデザインセミナーの取り組みも今年から各学校で行っております。

⑨住宅団地や大型商業施設が建つ場合の用地として供されるのは、ほとんどが農地です。寒河江川土地改良区管轄の農地が三千町歩を下回ると、国の補助率がかなり違ってきます。現在、三千町歩をややクリアしていますが、住宅団地造成などにご配慮をお願いしたい。

→農業を守ることは、市にとって重要でありますので、いたずらに団地を拡大することなく、バランスを考えて取り組みを進めてまいります。

⑩若い人の消防団員のなり手が少なく先輩方がやめられない。演習や操法大会など負担のかかる行事より、定期的なポンプの訓練など団員に負担のかからない形態を作っていくことが必要と思っています。今後の消防団の在り方について議論していただきたい。

→全国的にも団員のなり手が少なくなっている。市では、定数に近い800人を確保し、若い人から協力していただいている。人数を維持していくことが、市の安全につながるので、消防団に参加することの負担が少しでも軽減する方策を消防団全体で考えていくことも必要であり、市でも検討していく必要があります。

⑪市の人事異動について、農業を行っていますが、担当者が3年くらいで交代します。その度、関係性が一からとなり引継ぎがうまくいかない。何人かに一人のエキスパートを育成していくことはできないか。

→行政の担当者が3年くらいで交代していき、スペシャリスト的な人がいなくなることへの対策については、工夫もしていく必要があると考えます。

⑫地域の子供たちの数が激減しております。今年度より、市の学校あり方を考える会の会議が始まっていることを承知しております。ゆくゆくはこうしていきたいとの考えがあつての会議なのか。陵西中学校をなくさないで欲しい。

→始めから結論ありきではなく、どういう方法が、子供のため、地域のためにいいのか検討していくことが必要な時期であり、教育委員会で会を立ち上げ、検討を進めていくことにしたところでは。地域の皆さんの声や生徒の人数などのデータなどを踏まえ、充実して勉強できる環境や好きな部活ができること、環境なども含めて、2年間で取り組みを進めていきたいと思っております。教育委員会に伝えていきます。